北九州市の教育

第9号
2014.5

未来をひらく

編集・発行
北九州市教育委員会総務部企画課
〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号
TEL. 093-582-2357　FAX. 093-581-5871
Email. kyou-kikaku@city.kitakyushu.lg.jp

広報紙「北九州市の教育 未来をひらく」に関する皆さんのご意見・ご感想をお待ちしています。

「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」（平成26年2月改訂）

教育委員会では、平成21年11月に作成した「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、「中学校完全給食」の導入や「35人以下学級」の拡大実施などに取り組むとともに、地域と連携した学校支援の取組みである「スクールヘルパー」の充実や「経済界との連携による学校支援事業」の実施など、さまざまな施策を総合的に推進してきました。

しかしながら、本市の子どもたちの学力、体力は、多くの項目で全国平均を下回るなど、依然として課題があります。また、東日本大震災の発生や、全国的にいじめ・体罰の問題が顕在化するなど、安全で安心な教育環境の実現が一層求められています。

こうした状況を踏まえ、このたび教育プランの改訂を行いました。このプランでは、子どもの学力・体力の向上に引き続き取り組むとともに、いじめ防止や防災安全教育など、学校における安全・安心な環境を確保し、子どもの命と健康を守るための取組みを積極的に進めていくこととしています。

子どもの未来をひらく教育プランの全体像

北九州市教育の目標

思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

◎自分の可能性を信じ、夢や希望をもつ子ども　◎思いやりの心をもち、行動できる子ども
◎自分の力でやり遂げ、自立する力をもつ子ども

↑

基本方針

教育日本一を実感できる環境づくり

◎「子どもの教育」に対する満足度を高める　◎「子どもの教育」への市民の参画を進める

↑

子どもの未来をひらく教育の取組みの柱

学校の教育力

Ⅰ 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ
- 施策1 心の育ちの推進
- 施策2 確かな学力の向上
- 施策3 健やかな体の育成
- 施策4 子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進
- 施策5 特別支援教育の充実

Ⅱ 学校・教職員の力を高める
- 施策6 信頼される学校・園経営の推進
- 施策7 教育環境の整備

学校・家庭・地域を挙げた重点取組み

基本的生活習慣の定着につながる取組み
◎あいさつできる子ども日本一
◎読書好きな子ども日本一
◎しっかり食べて元気な子ども日本一

教育への市民参画を進める取組み
◎子どもの教育を支える スクールヘルパー日本一

家庭の教育力

Ⅲ 家庭の教育力を高める
- 施策8 家庭における教育・生活習慣づくりの充実

地域の教育力

Ⅳ 地域の教育力を高める
- 施策9 地域と連携した学校運営の実現
- 施策10 地域における教育活動の充実

平成26年度 主要事業

教育プランに基づき、平成26年度に取り組む新規・拡充事業を中心にご紹介します。

いじめ対策の充実

「いじめ防止対策推進法」の趣旨を踏まえ、体制整備を図るとともに、児童生徒の円滑な人間関係構築のための「北九州市対人スキルアッププログラム」の作成等により、いじめ対策の充実を図ります。

「子どもひまわり学習塾」事業

基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、小学校3年生から6年生及び中学校3年生を対象に（小学校：30校程度、中学校：10校程度）放課後等に補充学習を行う「子どもひまわり学習塾」を実施します。

学校の読書活動推進事業

学校図書館嘱託職員やブックヘルパーを配置し、学校図書館における読書環境の充実を図ります。

読書活動

ICTモデル事業

モデル校において、個々の能力に応じた個別学習、協働型・双方向型の授業の実現に向けて、タブレット型端末などICTを活用した指導方法について研究を行い、児童の確かな学力の育成への効果について検証します。

特別支援教育の充実

知的障害と病弱の児童生徒を対象とする特別支援学校を、旧門司商業高校跡地に新設する工事等に着手するとともに、総合療育センターの再整備に伴い、企救特別支援学校の再整備を実施します。

また、発達障害等、教育上特別な支援を必要とする児童に対する適切な指導・支援の充実を図るため、新たに特別支援教育学習支援員の配置など、それぞれのニーズに応じた人材を配置します。

学研地区における小学校新設事業

北九州学術研究都市地区における児童数の急増に対応するため、新設する小学校の用地取得及び基本・実施設計等を行います。

学校施設の防災機能の強化

学校施設に必要な耐震性能を確保するため、耐震補強工事（計82校）を順次実施します。

また、災害時の避難場所でもある学校施設の安全と安心を確保するため、吊り天井がある武道場は、落下防止を図る実施設計等を行います。

地域と連携した学校支援

企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修への講師派遣などを行う「経済界との連携による学校支援事業」の対象を13小学校から40校に拡大します。

地域と連携

小倉南図書館整備推進事業

小倉南区の地区図書館整備に向けて、基本・実施設計等を行います。

「家庭学習チャレンジハンドブック」について

作成の趣旨

本市では、これまで「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定し、「教育日本一を実感できる環境づくり」を基本方針に、子どもの教育に対する満足度を高めるとともに、市民参画を進める取組みを総合的に推進しています。

このような中、全国学力･学習状況調査の結果から本市の子どもたちの家庭学習時間の絶対量の不足が課題の一つとして分かってきました。

そこで、子どもたちが自主的に家庭学習に取り組める手引書「家庭学習チャレンジハンドブック」を発刊し、子どもたちに配布しました。各家庭で、ぜひ、「家庭学習チャレンジハンドブック」をお子様とご一緒に読んでいただき、家庭学習の取組みの一助にしていただきたいと思っています。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

本書の特徴

1　2 冊構成で、小学校から中学校への円滑な移行・接続に対応!

*9 年間を見通して活用できる小学校 1 年生～ 4 年生版と小学校 5 年生～中学校 3 年生版の 2 冊構成。

*1 冊を 4 年間～ 5 年間使用し、学習の足跡・成長を実感。

2　これを見れば、家庭学習が　わかる!できる!やってみたくなる!　4 つのカテゴリーで「家庭学習」を解説!

*「家庭学習 Q&A」（家庭学習に関する子どもたちの疑問に答えます。）

*「家庭学習のポイント」（各教科ごとに家庭学習のポイントを示しています。）

*「各学年の学習内容」（各学年でどのような学習をするかその内容を示しています。）

*「保護者向けコーナー」（家庭学習の重要性や新 1 年生の保護者に向けた学校生活の紹介などを示しています。）

小学校1年生～4年生版です。

小学校5年生～中学校3年生版です。

※北九州市立教育センターのホームページ（http://www.kita9.ed.jp/eductr/）に「家庭学習チャレンジハンドブック」を掲載しています。

北九州市家庭学習マイスター賞

教育委員会では、小学校、中学校、特別支援学校小学部及び中学部の児童生徒を対象に、家庭学習の定着と充実を図り、学力の向上を目指して、主体的、計画的、継続的に家庭学習に取り組んだ児童生徒を表彰する「北九州市家庭学習マイスター賞」を平成 25 年度より創設しました。

平成 25 年度は、小学生が 218 点、中学生が 170 点、合計 388 点の応募がありました。厳正な審査の結果、マイスター賞 9 名、優秀賞 10 名が選ばれ、平成 26 年 3 月 6 日ウェルとばたにおいてマイスター賞の表彰式が行われました。（写真）

マイスター賞の取組みについては、北九州市立教育センターのホームページや教育委員会のホームページに掲載をしていますので、家庭学習の参考にしてください。

また、本年度も「第 2 回北九州市家庭学習マイスター賞」を募集します。9 月上旬に、応募用紙を全児童生徒に配布しますので、ぜひ参加してください。

<家庭学習マイスター賞を受賞した児童の作品>

<家庭学習マイスター賞を受賞した児童生徒>

教育の現場から

第９回

学力向上に向けた取組みについて

教育委員会では児童生徒の学力の向上を本市の最重要課題と考え、各校の「学力向上プラン」に基づいて、計画的に取組みを推進しています。

特に、昨年度は 10 月からを「学力向上強化期間」とし、課題解決に向けて、各学校とも工夫を凝らした取組みを行いました。

今回は、学力向上に向けて特色のある取組みを紹介いたします。

青葉小学校　若松区

学力向上三点セットの取組み

本校では、日々の取組みを「学力向上三点セット」として、重点化して取り組んでいます。
①朝自習時間のドリルタイム･･･計算･視写･音読･読書を児童が自治的に進める。
②対話を重視した授業･･･ペア学習、グループ学習等、対人スキルの視点を重視した学習で思考力、表現力を深める。
③内容を統一した家庭学習･･･学年ごとに、子どもたちの課題に即した内容と家庭学習習慣の確立で生涯学び続ける力にする。

また、昨年度は、高須中学校区三校による「対人スキルアッププログラム」研究指定校として、小中 9 年間を見通した対人スキルアッププログラムの構築にも取り組みました。教科学習にもこの対人スキルアップの視点を取り入れることで子どもが考え合い、語り合う授業を目指しました。そして、それらの取組みを家庭に発信して連携することにより、学力の向上を図りました。

<対話を重視した授業>

板櫃中学校　小倉北区

「学習習慣の定着」を目指して
～「ワンプリ」「ノーテレビ・ノーゲーム・チャレンジ週間」～

本校では「学習規律の確立」「学習意欲の向上」「学習習慣の定着」の３つを柱に学力向上に取り組んでいます。

特に、「学習習慣の定着」に関しては、月・水・金に 1 枚プリントの宿題を出し必ず提出させる「ワンプリントデー」を全校で実施し、家庭学習のスタンダード化を図っています。

<実力アップワンプリ週間問題集、チャレンジ週間の記録>

また、毎月 23 日を含む週を「ノーテレビ･ノーゲーム･チャレンジ週間」として、テレビやメールなどの「メディア時間」と家庭学習や読書などの「チャレンジ時間」を記録し、生徒が主体的に家庭での望ましい生活習慣を確立することを目指しています。昨年度は、校区の小学校とも連携して実践し、学習習慣につながる「学びの基盤」が広がりました。

小森江東小学校　門司区

基礎学力の育成を図る取組み

本校は児童の実態から、「速く正確に書く力」と「正しく計算する力」の育成が必要と考えました。そこで、朝自習の時間に計算ドリルや百ます計算をする「計算力アップタイム」と漢字ドリルや写し書きをする「ぐんぐん書くタイム」を位置付けました。この取組みは全校一斉に行い、終了時にはできた問題数を一人一人が記録し、自分の記録がどのくらい伸びているかわかるようにしています。朝自習の時間は誰一人私語をせず、鉛筆が走る音だけがしています。年度末には、「小東計算力大会」と「小東ぐんぐん書く大会」を行い、1 年間の個々の成果が自覚できるようにしています。また、昼休みにはパソコン室で学習ソフトを使った漢字・計算練習をし、基礎学力の育成を図っています。

<昼休みにパソコン室で学習している児童>

柳西中学校　門司区

家庭学習の充実に向けて

昨年 5 月より、家庭学習の充実を図るため、本校では「自学自主ノート」の取組みを開始しました。自分の今の学習で不足している部分を補ったり、得意な部分をさらに伸ばしたりするなど、毎日、短時間でもよいので、自分のペースで地道に努力した足跡を残すことをねらいとしました。全員提出の強制はしていませんが、よいノートの例は各学年掲示板に評価と併せて掲示したり、集会等で表彰したりするなどして、自主的、計画的な取組みを促しています。

<よいノートを参考にしている生徒>

また、2 月実施の新入生入学説明会では、6 年生全員に「春休みの課題」（国語・算数・英語）を与えています。入学式前までの約 3 週間に、しっかり小学校の復習等を行い、入学式 2 日後に「確認テスト」を実施しています。これは「小中一貫・連携教育」の取組みの一つでもあります。

<チャレンジシートの紹介（WEB問題）>

○チャレンジシートとは、自主学習する時に活用できる学習シートです。
○シートの内容は、<学ぶシート>･<基本シート>･<ジャンプシート>の3つです。

「学ぶシート」
単元で大切なことを学べるシートです。確実に覚えることが大切です。

「基本シート」
学ぶシートで学んだことを実際にやってみるシートです。くり返しやることが大切です。

「ジャンプシート」
発展・活用問題です。少し難しい問題です。思考力を伸ばします。

○チャレンジシートは、北九州市立教育センターのホームページ（http://www.kita9.ed.jp/eductr/）に掲載しています。
お子様の通っている学校のホームページからも北九州市立教育センターのホームページにアクセスし、印刷して活用できます。

「学ぶシート」

ごあいさつ

北九州市教育委員会教育長
垣迫裕俊

この4月から、教育長として本市の教育行政を担わせていただくこととなりました。

教育委員会では、平成21年11月に「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」を策定し、「教育日本一を実感できる環境づくり」を基本方針に、子どもの教育に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進してきました。特に、「あいさつ」、「読書」、「元気（食育・体育）」、「スクールヘルパー」をキーワードに、学校、家庭、地域を挙げて重点的に取り組んでいます。

しかしながら、喫緊の課題である学力・体力の向上対策、東日本大震災の教訓を活かした防災・安全教育の推進やいじめ対策や体罰問題といった「子どもの安全安心の観点」からの教育環境の充実に向けた取組みも、更に進めていく必要があります。

これらの課題などに積極的に取り組んでいくために、本年2月に「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」の改訂を行いました。今回の改訂では、教育の目標や基本方針、重点取組み等の骨格部分は堅持しつつ、こうした課題などを踏まえた各施策を総合的に進めることとしています。

平成26年度は、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等に補充学習を行う「子どもひまわり学習塾」、いじめに関する課題に対応するため、体制等の整備を図る「いじめ対策の充実」、小倉南区の地区図書館整備に向けた「小倉南図書館整備推進事業」、さらに、地域の協力のもと学習支援をはじめ様々な学校教育活動を支援する「学校支援地域本部事業」などの各種施策に取り組みます。

今後とも、「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」という本市教育の目標に向けて、一歩一歩、前進していきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成25年度 杉浦奨学生

芸術・文化、学術、スポーツの各分野で優れた成績を残し、将来の北九州市の文化振興の担い手となる人材を育成するため、北九州市文化振興基金の運用益の一部をもって、修学資金の一部が給付される「杉浦奨学生」に、平成 25 年度はバイオリンやバレーボール、ボウリング、陸上競技、工学（機械工学）で活躍している６名（高校生５名、大学院生１名）の方が決定しました。

平成 4 年度に事業を開始して以来、平成 24 年度までに 124 名が杉浦奨学生として採用され、過去の奨学生の中には、オリンピック代表や世界大会・アジア大会に日本代表として出場された方、国内外での音楽活動など輝かしい実績を挙げている方などが多数おり、平成25年度杉浦奨学生も今後の更なる活躍が期待されます。

贈呈式（平成25年12月26日）　前列：杉浦奨学生（2 名代理出席）　後列：審査委員

北九州市こころのふるさと作文コンテスト

教育委員会では、北九州市制 50 周年を記念して、「北九州市こころのふるさと作文コンテスト」を実施しました。

このコンテストは、ふるさと北九州市の好きなところやふるさと北九州市を愛する気持ちを書いた作文を募集し、作文づくりや作品の公表を通じて、全市民が郷土を見つめなおす機会とするとともに、郷土を愛する気持ちをはぐくむことを目的に実施した事業です。

昨年の 7 月から 9 月に募集を行い、市内小学校、中学校、特別支援学校から 14,334 編の応募をいただいきました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

その中から、「最優秀賞」9 編、「優秀賞」27 編、「入選」616 編を選定し、平成 26 年 1 月 25 日に表彰式を開催しました。

最優秀賞、優秀賞作品は、北九州市のホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

親としての学びや育ちを応援します！ 家庭教育学級

「子どもを怒ってばかりでいいのかな?」、「携帯電話をせがまれているけどどうしよう…」など、保護者の皆さんは不安や悩みを抱えていませんか。また、子どもの学力や体力、幼稚園・学校での様子など、関心をお持ちのことと思います。

「家庭教育学級」は、子育て中の皆さんが、自分たちの学びたいこと、知りたいことを自由に企画・運営し、共に学習することができる場です。開催の案内は幼稚園・学校を通じて各家庭に配付されます。「市民センターだより」でもお知らせしています。多くの方々のご参加をお待ちしています!

手を動かしながら
楽しく情報交換♪

食育講座の様子

久保田賞・福原賞

「久保田賞」は、元若松市議会議長の故久保田瑞一氏のご遺族から、「中学生の健全育成に役立ててほしい。」と、北九州市にご寄付をいただき、善行等顕彰すべき行為のあった中学生の個人及び団体を表彰することとし、昭和 62 年度に創設しました。

「福原賞」は、学校法人「福原学園」を創設された故福原軍造氏のご遺族と現福原学園理事長、福原弘之氏から「学校教育に役立ててほしい。」と北九州市にご寄付をいただき、文化的・体育的活動や調査研究等で顕彰すべき成果をあげた小学生を表彰することとし、平成元年に創設しました。

平成 25 年度、久保田賞は、個人 12 組と 3 団体が受賞しました。福原賞は、個人 7 組と 5 団体が受賞しました。

久保田賞

福原賞

No.1431019C
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

北九州市教育委員会総務部企画課　〒803-8510 北九州市小倉北区大手町1番1号　TEL.093-582-2357　FAX.093-581-5871　Email.kyou-kikaku@city.kitakyushu.lg.jp